

【管理運営状況公表様式】

平成20年度 青森県立自然ふれあいセンターの管理運営状況

県所管課	環境生活部自然保護課
指定管理者	青森県森林組合連合会 代表理事会長 本間家大
指定期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
県民の森利用指導業務	・日曜観察会、自然教室等の企画・開催 ・写真展、作品展や講演会などの実施
情報発信業務	・自然情報誌「梵珠だより」「ネットワーク梵珠」の発行 ・ホームページ、ブログによる情報提供
施設の管理運営業務	・清掃、警備業務及び建物設備の保守点検 ・展示物や備品の管理

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
入館者数	H19		30,906	(指定前の実績)	
	H20	30,000	36,705	122.4%	118.8%
	H21	30,000			
	H22	30,000			
行事参加者数	H19		830	(指定前の実績)	
	H20	1,700	2,437	143.4%	293.6%
	H21	1,700			
	H22	1,700			

【増減理由】

入館者数、行事参加者数ともに平成19年度と比較して大幅に増加しているのは、平成20年度から指定管理者制度が導入され、これまで行ってきた日曜観察会等の行事に加え、指定管理者（青森県森林組合連合会）が自主事業「森ふれあいデー」や特別展示などを開催したこと、ブログ「県民の森梵珠山だより」の開設や地元広報誌を活用したPR活動に積極的に取り組んだことによるものと考えられます。

### 3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	・梵珠山で登山や自然観察を行う利用者に対し、自然に関する情報提供や利用のアドバイスを行っており、利用者から高い評価を得ている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	・自主事業「森のふれあいデー」の開催やPR活動など新規利用者の獲得に努めたことにより、入館者数及び行事参加者数が前年度と比較して増加した。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	・建物・設備の保守点検や清掃作業を定期的に行っている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	A	A	・安全管理者を定め、事故及び災害の発生防止に努めている。 ・緊急事案発生時の連絡系統図を作成している。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	A	A	・簡易な補修工事の自力施工や節電等により経費の節減に努めている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	A	A	・行事開催回数を増加し、ブログの開設などの広報活動を積極的に行ったことにより、入館者数、行事参加者数ともに増加した。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	A	A	・青森県立自然ふれあいセンターの管理に関する基本協定書に基づき、個人情報の保護を行っている。
総合評価	A	A	

#### ○評価基準

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を要する
- D（不可）：改善や更なる取組が必要